

事業報告

わが国の経済状況は、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移する中、内需の柱である個人消費や設備投資が増加傾向で推移するなど、緩やかな拡大を続けていましたが、新型コロナウイルスの感染が日本をはじめ多くの国々で流行し、その影響は甚大で一昨年度末から昨年度にかけて、当シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しいものとなりました。

事業運営につきましては、令和2年度事業計画に基づいて、東員町を初め関係機関のご支援ご指導のもと、多様な就業形態に対応するとともに、新たな就業機会の創出・拡大、就業機会の開拓・確保と会員拡大の推進、認知度向上に取り組んでまいりました。

運営経費については、国並びに東員町の補助金を基盤として事業を展開していますが、国・地方の財政事情が厳しい中であって、シルバー事業に対しまして、最大限のご理解をいただき、補助金の交付を受けました。

センター事業の普及啓発については、女性部会の活動において非会員の参加促進や地域貢献活動の一環として会員手づくりマスクの寄贈、会員拡大・啓発活動を展開し、センターの紹介・会員活動状況がケーブルテレビ放映や町広報に掲載され、町民の皆様にごセンターの活動を発信させていただくことができました。

そして、会員の増強については、ポスティングや広報紙を通して会員募集を行い、毎月2回入会説明会・女性のための入会説明会を開催し、センターの制度・趣旨・仕組みなどの説明を行い、入会勧奨に努めました。

また、就業機会の拡大と併せて技能講習、生活支援に関わる各種講習会を実施しました。

安全就業対策については、会員の就業中の事故防止を図るため、安全委員会を開催し、安全就業パトロールを行い安全就業意識の

高揚を図り、事故防止に努めました。

事業実績については、正会員数は令和2年度末現在で312人、前年度同期と比較して15人の増となりました。受託事業収入（受託契約金額）は、1億377万円で前年度に対して555万円、率にして5.7%の増となりました。受託契約件数は489件で、内訳は公共が26件民間事業所が61件・一般家庭が402件となっております。一方、派遣事業では、契約金額は2,971万円で前年度とほぼ同額となりました。

今日までの実績は町当局ならびに関係機関の適切な指導・ご支援、会員の協力と町民の皆様の深いご理解とご支援に感謝申し上げます、令和2年度事業の概要について報告いたします。

1 適正就業の推進と安全就業の徹底

安全就業への意識の徹底を図り、事故ゼロを目指し、安全意識の再確認と、危険予知活動の周知を中心に安全・適正就業委員会委員による会員就業現場への安全パトロールを実施いたしました。しかし、傷害事故1件、賠償事故1件、自動車事故2件が発生しました。機械除草における石の飛散による住宅損傷事故、不注意による自動車事故もありましたが、昨年度を下回ることは出来ました。

- ① コロナウイルス感染拡大防止で就業先への巡回が制約を受ける中ではありましたが、安全第一・事故ゼロを目指して、安全・適正就業委員会委員による会員就業現場への安全パトロールを実施いたしました。
- ② 夏季には熱中症予防対策として、注意喚起のためチラシや塩分補給物品の配布を行いました。
- ③ 適正就業の推進については、厚生労働省適正就業ガイドラインに基づき会員・発注者に周知と理解を求め、法令遵守に努めました。

- ④ 自動車の運転に関する技能、安全運転に必要な知識等を習得するために安全運転講習を予定しておりましたが、コロナウイルス感染拡大防止で中止となりました。
- ⑤ 救命技術を身に着けるためにAEDの取り扱いを習得するために普通救命講習もコロナウイルス感染拡大防止につき少人数の開催となりました。(9名受講)
- ⑥ 安全就業意識の高揚と健康状態に注意し、管理意識を持って頂くため、健康教室を開催しました。
(健康セミナー・健康度チェック 21名受講)

2 普及啓発活動

- ① 広報誌『パワー東員』の編集発行
会員活動、講習会など写真を多く取り入れ、見やすい編集に心がけ発行に務めました。
第54号 令和2年7月17日発行
第55号 令和3年1月1日発行
また、会員対象にセンター活動の主な情報提供を目的に会報「東員シルバーだより」を毎月配布しました。
- ② メディアの活用(情報の収集及び発信)
地域貢献活動の一環として会員手づくりマスクの寄贈、会員活動状況、センターの紹介等がケーブルテレビ放映や町広報、保育園・幼稚園だよりに掲載され、町民の皆様センターの活動を発信させていただくことができました。
- ③ ホームページにセンター事業等の紹介及び入会希望者への情報提供を行いました。
- ④ 本年度はコロナウイルス感染拡大防止のため各種イベントの中止や地域ブロック活動、シルバーの日の活動自粛から普及啓発チラシの配布等については実施できませんでした。

3 女性部会活動

女性会員拡大と普及啓発活動の一環として、下記の事業を実施しました。

実施日	事業	内容等
4月28日	手作りマスク寄贈	町・学童保育へ330枚 寄贈
6月20日 8月22日29日 2月27日	四季折々の 作品づくり等	七夕 笹飾り 干支づくり(丑) 桃の節句
7月18日	手芸作品	水引細工づくり 独自事業として、水引細工 販売
9月19日	わら細工	わら細工づくり 独自事業として、リース販 売
10月29日	女性対象入会説明会	会員活動説明 懇談会 パネル展示 袱紗づくり
11月2日	コーラス慰問	町内介護施設慰問
11月12日	あやとり贈呈	幼稚園・保育園へ贈呈
11月28日	寄せ植え講習会	非会員参加事業
12月5日	しめ縄づくり	
12月7日	しめ縄贈呈	いなべ保育園・第二保育園
1月23日	味噌づくり	発酵食品講習会 非会員参加事業
1月20日~27日	シニア文化作品展	中止のため参加予定作品 をシルバーだよりへ掲載
3月6日	シトラスリボンづくり	会員へ配布

4 会員増強

① 入会説明会及び研修会

入会を希望する高齢者を対象に、センターの概要及び就業のしくみ等の説明会を月2回開催（保健福祉センター及び笹尾コミュニティセンター）しました。

説明会参加者は46名（男性20名 女性26名）で新規入会者は41名（男性20名 女性21名）で年度末現在の会員数は312名（男性223名 女性89名）となっております。

② 女性会員の加入促進を図るため、女性部会が中心となり、女性のための入会説明会（内容：センターの仕組み、部会活動のパネル展示、懇談会）を10月に開催しました。

③ 会員募集をチラシの新聞折り込みや各戸へチラシのポスティングを行いました。また、ホームページの充実を図りセンター事業等の紹介及び入会希望者への情報提供に努めました。

・新聞折り込み

地域	神田地区・稲部地区・三和地区	年2回
内容	会員募集、活動内容紹介、説明会案内	

・ポスティング

地域	笹尾地区・城山地区	毎月
内容	会員募集、活動内容紹介、説明会案内	

5 研修講習事業

- | | |
|----------------|-------------|
| ① 植木の手入れ講習 | 9月30日・10月1日 |
| ② 生活支援クリーニング講習 | 11月18日・19日 |
| ③ 普通救命講習 | 11月20日 |
| ④ 健康教室 | 3月29日 |